

令和7年度当初予算 サプライチェーン連結強化プロジェクト事業取組事例

農林水産省
輸出・国際局 輸出支援課

目次

頁	協議会名	対象国・地域	取扱品目
1	日本食品輸出推進協議会	オーストラリア、ベトナム	牛肉、豚肉等
2	農林水産物輸出販路開拓協議会	アメリカ、メキシコ	ブリ、タイ、その他養殖水産物

R7当初 サプライチェーン連結強化プロジェクト事業の概要

実施主体名	日本食品輸出推進協議会
参画事業者	北海道食品輸出開発株式会社、食肉関係貿易商社、食肉生産・加工・販売事業者 他
対象品目: 対象国・地域	牛肉、豚肉等: オーストラリア、ベトナム
取組概要	国内での特殊なフィルムを用いた真空包装技術や、香港での特殊なガスを充填し、密閉する技術を活用したカット肉の輸出体制整備により、現地加工能力が弱いオーストラリアとベトナムへの牛肉と豚肉の輸出を拡大。

主な商流

生産者
食肉生産・加工・販売事業者
↓
輸出者
北海道食品輸出開発
↓
輸入/加工/輸出事業者
香港：食肉関係貿易商社
↓
販売者
オーストラリア：Woolwarths
ベトナム：WinMart・WinMart+

主な取組

- <生産/出荷段階>
- 1 食肉生産・加工・販売事業者の特殊なフィルムを用いた真空包装技術を有する加工施設を活用した試験的輸出を通じ、さらなる輸出拡大の基盤を確立。
 - 2 特殊なガスを充填し、密閉した包装で輸出可能な施設を有する香港をハブにした商品開発と、対象国への出荷ルートの確立により、現地加工が不要な商品提供を実現。
- <流通段階>
- 特殊なフィルムを用いた真空包装技術を用いたチルド/冷凍牛肉の輸出実証等を行い、品質保持/コスト面での最適な流通体系を確立。
- <販売段階>
- 現地主要店舗において、鮮度/品質に焦点をおいたテスト販売や試食を行い、顧客の認知度向上と継続的な商流構築を実現。

R7当初 サプライチェーン連結強化プロジェクト事業の概要

実施主体名	農林水産物輸出販路開拓協議会
参画事業者	株式会社R&S KAWABA、ホロバイオ株式会社、株式会社GHIBLI
対象品目: 対象国・地域	ブリ、タイ、その他養殖水産物: アメリカ、メキシコ
取組概要	成長促進と生産コスト低減に資する革新的な新技術の活用や、現地輸入業者と一体で行うラストワンマイルの最適化と継続的な消費につながるメニュー開発を通じ、新たな商流を開拓。

主な商流

生産技術提供
ホロバイオ

生産/流通事業者
GHIBLI、R&S KAWABA
↓
輸入者
Santa Monica Seafood
↓
販売者/外食産業
Santa Monica Seafood
(現地系卸売会社)
Landry's Inc
(現地系外食チェーン)

主な取組

- <生産段階>
- 成長促進と草食化を促す養殖の新技術（機能性腸内細菌株を仔稚魚に投与することで腸内細菌叢を改変させる技術）を用い、生産性の向上と生産コストの低減を実証し、米国現地外食チェーンの新規商流を開拓。
- <出荷/流通段階>
- 輸入業者と連携した川下（現地外食/小売事業者）までの少量コールドチェーン構築や混載の実証を行い、リードタイム/流通コスト/品質の最適化を行う。
- <販売段階>
- 米国/メキシコで展開する外食チェーンのキーパーソンとサンプル品を活用したメニュー開発を行い、持続的な商流を拡大。